

私たちのまちを知らう！

城東区通信

城東区通信

— 第18回 —

シリーズ

企業訪問

7月26日(金)訪問



城東区×SDGs



【ヤナセ製油株式会社】

これからの社会に不可欠なSDGsの取組み。城東区内にある企業を訪問し、お話を伺っていきます。

今回は、城東区関目に本社を構えるヤナセ製油株式会社を訪問し、取締役の柳瀬慶明様と技術部係長の手塚仁司様と対談させていただきました。

ヤナセ製油株式会社は、昭和10(1935)年に創業者の柳瀬卯太郎氏が個人経営の石油製品の販売会社としてはじめられ、来年に創業90年を迎えられる歴史のある企業です。柳瀬卯太郎氏は、戦後、人々の移動手段が二輪車や四輪車などに変わっていく中で「潤滑油」に将来性を見出し、日本ではじめて自動車エンジンオイルを製造、大手自動車メーカーに納品されたそうです。また、農業や繊維業で使用されている機械等の潤滑油の製造も手掛けられ、現在取り扱われている潤滑油は500種類におよびます。

1970年代頃から環境問題への意識が高まり、平成元(1989)年にはじまったエコマーク制度において生分解性(※)潤滑油についての商品類型・基準が制定されたことや、機械使用時等に潤滑油が自然環境中へ漏出した際の影響を危惧し、これからは環境に配慮した製品が望まれるのではないかという思いの元、国内でも先駆けて、植物油を原料とする生分解性潤滑油の開発・製造に取り組まれました。昨今では、農業、林業団体や公共工事を含む工事施工業者等からエコマークがついている製品が選ばれるようになるなど、少しずつ着実に環境配慮の意識が浸透していると感じておられるそうです。

今後についてお伺いすると、「潤滑油の製造を続けながら、それによって得た知見を活かして、安心・安全・高品質は勿論のこと、お客様に喜んでもらえる、今後の時代のニーズに合った新たな製品を生み出していけたらと思っています。」とおっしゃっていました。

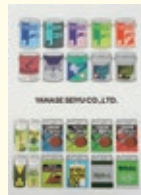
これからも、誠実にモノづくりをされてきた姿勢を大事にしながら、利用者にも環境にも安心で安全な製品を開発・製造されることを願っています。

※微生物の働きにより、分子レベルまで分解し、最終的には二酸化炭素と水となって自然界へと循環していく性質



左から柳瀬取締役、吉村区長、手塚係長

取り扱われている潤滑油の一部▶



柳瀬取締役(右)「油屋なので『絶対に火事をおこさない』と家訓があり、安全配慮には法令に則り万全を期しています。」

城東区表彰

優秀な成績をおさめた方を表彰しました！

氏名	学校名	年次	功績内容
すずきかんた 鈴木 幹太	鯉江中学校	2年	第3回 世界硬式空手道 選手権大会 出場
はせがわしおん 長谷川 詩恩	鯉江東小学校	5年	
あらおさら 荒尾 咲良	鯉江小学校	1年	

※敬称略

問合せ：総務課

☎ 6930-9625 FAX 050-3535-8684

第14回 JOTO合唱祭〈8月18日(日)〉



600名以上の方が来場され、出演された19の合唱団による工夫を凝らした個性豊かな発表を楽しんでおられました。ラストは「手のひらを太陽に」などを会場全員で歌い、大いに盛り上がりしました。

問合せ：市民協働課(市民活動支援)

☎ 6930-9743 FAX 050-3535-8685

SDGs推進チームからのお知らせ

城東区役所で集めたペットボトルキャップを並べて距離に換算すると約52万個=約16km 区役所から万博会場へ向けてペットボトルキャップを並べてみた場合、区役所から緑橋を経由して中央線コスモスクエアまで到達したよ！



スタート
城東区役所

問合せ：総務課(総合企画)

☎ 6930-9683 FAX 050-3535-8684



吉村区長の城東見聞録



城東区×SDGs



実りの秋ですね。今回は城東区内にある「田んぼ・畑」をご紹介します。

がもよんファーム(蒲生4)

平成30年に近畿地方を中心に甚大な被害を及ぼした台風により改修不能となった住宅4棟を取り壊し、令和元年に「がもよんファーム」が誕生しました。全部で29区画あり、開園後から現在まで全区画が埋まるほどの人気です。利用者のほとんどが城東区にお住まいの方で、仕事終わりに農園に立ち寄るなど、畑作業が生活サイクルの一部となっている方が多いそうです。ここでは、利用者同士で育てた野菜を交換したり、困っている方がいれば声掛けをするなど、新たな地域コミュニティの場にもなっています。



放出農園(永田2)

平成17年に放出下水処理場の屋上を利用した「放出農園」が開園しました。農園は153区画あり、それぞれの区画では、燦々と降り注ぐ日の光を浴びながら瑞々しい野菜や花等が育て



られています。また、同じ屋上にはせせらぎや芝生広場が、放出下水処理場南門の横には花や樹木等が植えられた放出せせらぎの里があり、身近に自然に親しむことができる、まさに都会のオアシスです。

タイムズピーススクエア内の田んぼ(今福西6)

国内でも珍しいマンションの敷地内にある田んぼで、もち米の無農薬栽培をされています。子どもたちがお米ができる過程を知り、土に触れる機会になればと、15年から「田んぼ倶楽部」の活動がはじまったそうです。収穫されたもち米はマンション内で開催される冬まつりにてお餅にして販売されています。田んぼ倶楽部の活動を通じて、マンションの住人同士のつながりが広がり、子どもたちが大きくなった今もそのつながりが続いているようで、「田んぼ」が人と人がつながるコンテンツになっているようです。



▲田んぼ倶楽部部長の井上秀敏さん(右)と吉村区長(左)

大人になると新しいコミュニティに参加する機会が少なくなりますが、田んぼや畑での活動が地域の人々と交流をはじめるきっかけになるかもしれません。

地域活動協議会だより

「ふれあい喫茶」参加してみませんか？

地域活動協議会の活動の一つであるふれあい喫茶は、ボランティアの皆さんによって、地域の人たちの交流の場として開かれた喫茶であり、一般的な喫茶店ではありません。ふれあいの場、語らいの場として、大人も子どもも楽しいひと時を過ごせる場所です。各地域で月に1回程度行わ



れており、パンやコーヒー、紅茶、ジュースなどが100～200円程度で提供されています。

この機会に「ふれあい喫茶」に行ってみたい方は、城東区社会福祉協議会広報誌「元気にいこまマップ」や各地域のSNS等をご覧ください。



問合せ

城東区まちづくりセンター(放出西1-9-7 放出西会館内)
☎ 6167-9900 FAX 6167-9901



広報誌「城東区まちセンジャーナル」を区役所1階広報誌ラックにて配布中です！！



地活協主催・防災訓練情報

地域名	とき	ところ	内容
関目地域活動協議会	10月26日(土)17:30～20:00	関目小学校	安否確認・避難場所への誘導・消火体験・救命活動体験 ※雨天時は講堂で救命活動体験のみ実施

問合せ：市民協働課(防災・防犯) ☎ 6930-9045 FAX 050-3535-8685